

ランドセルプロジェクト Tシャツアート展 in トンガ

平成29年から町婦人連合会と町PTA連合会が協力し、町内各地から集めたランドセルをトンガへ寄贈する「ランドセルプロジェクト」が今年も実施され、50個のランドセルがトンガの子どもたちへ手渡されました。

同プロジェクトは、平成28年11月に実施された「世界津波の日高校生サミット in 黒潮」でできた諸外国とのつながりを継続することができないかという思いから始まったもので、町内の小・中学校を中心に毎年声掛けを行いランドセルを募っています。



発送前の準備をする関係者ら

集まったランドセルは6月3日（月）、関係者らによって表面を磨くなどの発送前の準備が行われ、代表して3名の町PTA連合会役員が7月、実際にトンガへ渡り寄

贈式に出席。寄贈式には、フィリタ教育・訓練大臣や在トンガ日本大使館の石井大使らが出席し、ランドセルはヌクアロファ小学校の児童らに寄贈されました。

また、同プロジェクトに合わせ、昨年からはNPO砂浜美術館による「Tシャツアート展」も行われ、トンガ滞在中には、事前に黒潮町の関係者らがメッセージやイラストを書き込んだTシャツへ現地の子どもたちが思い思いのイラストをデザインするワークショップを行ったり、教員養成学校でTシャツの展示をするなど、両国間の交流が深められました。

寄贈式に参加した町PTA連合会役員は、「ランドセルを贈ることとでトンガと黒潮町の繋がりを感じ、遠い国ではあるけれど身近に感じた。」



子どもたちと記念撮影

「これからもこの交流が長く続けば」と話しました。

ティラーのお菓子づくり交流会

10月5日（土）、保健福祉センターで、「ティラー・アレンのお菓子づくり交流会」が開催され、16名が参加しました。

ティラーさんはアメリカ出身で、8月からCIR（国際交流員）として町で活動しています。同イベントは、お菓子作りを通して参加者と交流し、アメリカの文化やティラーさんについて知ってほしいと町教育委員会が主催しました。

参加者らは、チョコレートパイなど2品を作りました。また、参加した子どもがティラーさんに英語について質問する場面なども見られ、楽しい交流の時間となりました。

ティラーさんは、「皆さんが興味を持って参加してくれて良かったです。アメリカ



参加者らと交流するティラーさん

「た。アメリカや私のことをもっと知ってもらえるよう、またこのようなイベントを考えた」と話しました。

佐賀中カツオマイスター 実技発表会

「カツオマイスター育成プログラム」の実技発表会が10月2日（水）、黒潮一番館で行われ、佐賀中学校の生徒5名が家族や友人らの前でカツオのタタキ作りを披露しました。

同プログラムは、ふるさと・キャリア教育の一環としてカツオのタタキ作りの技術を習得し、ふるさと文化を心に刻んでほしいと昨年度から実施され、生徒らは8月から実技講習を計7回受講しました。

3年の吉田愛華（まなか）さんは、「魚は苦手だけど、カツオが有名な佐賀に生まれたので、これをきつかけに好きになりたい」と思い挑戦した。おろすのは難しかったけど、段々上手になったと思うし、背びれがすーっと切れたら嬉しかった」と話しました。



真剣な表情でカツオをさばく生徒ら

完成したタタキの試食会も行われ、来場者からは「美味い」と声が上がっていました。